

高知県立文学館第22回児童生徒文学作品朗読コンクールのご案内【募集要項】

I 趣 旨

朗読は、小・中学校国語科の授業において、表現のための意義ある教育活動として取り組まれています。当館でも高知城下の緑豊かな環境のもと、朗読を通して、文学に親しむ子どもたちを育てたいと願い、毎年児童生徒文学作品朗読コンクールを開催しており、今年で22年目を迎えました。

文学作品を朗読することを楽しみ、より深く作品世界を理解することは、子どもたちに大きな喜びをもたらします。その喜びが、さらに文学に親しむきっかけとなることを願い、多くの子どもたちに参加していただきたいと考えています。

高知の文学を顕彰する当館にふさわしい文学活動として高知の文学を児童生徒に広め、また、児童生徒の活躍の場となることを目指して、第22回児童生徒文学作品朗読コンクールを企画し、下記の要項で募集いたします。

II 主 催

高知県立文学館（公益財団法人 高知県文化財団）

III 後 援

高知県教育委員会、高知市教育委員会、オーテピア高知図書館（高知県立図書館、高知市民図書館）、高知新聞社、朝日新聞高知総局、毎日新聞高知支局、読売新聞高知支局、NHK高知放送局、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、KCB高知ケーブルテレビ、エフエム高知、高知シティエフエムラジオ放送株式会社、認定NPO法人高知こどもの図書館（順不同）

IV 募集要項

1. 対象

県内の国公私立小・中学生による個人朗読（グループ、群読などは除く）

2. 朗読作品分類

第1類 高知県出身の近現代の作家、または高知県を場面とした文学作品

第2類 第1類以外の文学作品

※童話、絵本、教科書掲載作品を含む

※詩は含まない

3. 参加費

無料

4. 参加申込み方法

① 1校につき5名以内を推薦、学校単位での申込みとします。

② 申込書に必要事項を記入のうえ、A4横サイズに収めた朗読部分のコピーを添付してください。

◇朗読部分のコピーには必ず、朗読箇所の始まりと終わりを「 」で示し、右上に学校名と生徒氏名を記入したうえで、申込書に添付して提出するようにしてください。

◇申込書及び朗読コピー添付用台紙は当館ホームページからもダウンロードできます。

③ 地区審査については、西部・東部・高知のいずれか希望する会場を明記してください。

5. 申込み先

① F A X : 送信先番号：088-871-7857 「第22回朗読コンクール事務局」あて

② 郵 送 : 〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目1-20

高知県立文学館「第22回朗読コンクール事務局」あて

③ E-Mail : bungaku@kochi-bunkazaidan.or.jp

◇件名に「第22回朗読コンクール事務局」と明記のうえ、申込書並びに朗読原稿のコピーをPDFにしたものを添付して送信してください

6. 申込み期間及び応募締切り

2019(令和元)年6月17日(月)から7月13日(土)まで ※当日消印有効

※申込みいただいた学校には、応募締切り後、地区審査についての詳しい案内を送付いたします

7. 朗読箇所の変更

朗読原稿提出後に変更のある場合は、下記によりご連絡をお願いします。

・ 作品変更や場面変更など大幅な変更のある場合 : 7月31日(水)まで

・ 同一箇所内での長短の変更のある場合 : 8月10日(土)まで

※最終は、審査当日の受付時に確認をさせていただきますが、連絡のないまま変更された場合や朗読原稿と実際の朗読箇所が異なる場合は、審査の対象から外れる場合がありますので、変更の際には必ずご連絡をいただきますようお願いいたします。

V 審査

1. 地区審査

県内3会場で審査を実施します。

<西部> 8月19日(月) : 大方あかつき館 レクチャーホール

<東部> 8月20日(火) : 田野町ふれあいセンター 多目的会議室

<高知> 8月22日(木) : 高知県立文学館 1F ホール

8月23日(金) : 高知県立文学館 1F ホール

※高知会場は多数の参加が見込まれるため2日間を予定

2. 県審査

11月24日(日) : 高知県立文学館 1F ホール

※各地区審査より選出された児童生徒が県審査に出場します

※特別審査委員として、島本須美氏(声優、高知県出身)をお招きします

3. 表彰

県審査において、各賞を選考し、受賞者には賞状と記念品を授与します。

金賞 : 1名 特別賞(特別審査委員賞) : 1名

銀賞 : 2名 特別賞(高知県教育長賞) : 1名

銅賞 : 5名

入賞 : 10名程度 郷土文学賞 : 1名

※第1類・第2類あわせて優秀者を表彰し、郷土文学賞は第1類から表彰します

4. 評価の観点

小・中学校の音読、朗読の指導内容を基本にし、文学作品の朗読という趣旨から、場面の情景や登場人物の心情など、作品をよく理解またはイメージし、豊かに表現しているかどうかを評価の観点とします。

VI 留意事項

1. 朗読時間

朗読は、必ず、下記の時間(分)内に収めるようにしてください。時間を大幅に超えてしまうと、審査の対象外となります。

日頃よりタイムを計って練習するなど、時間を意識しての朗読を心がけるようにしてください。

・ 小学1年生～小学4年生 : 2分以内

・ 小学5年生～中学3年生 : 3分以内

※一語一語を大切に、聴き手を意識して朗読するよう心がけてください

※本番では、作品名と作者名を読んだ後で朗読に入ってください。なお、作品名と作者名は朗読時間には含みません

2. 朗読作品の選定

作品や朗読箇所の選定の際には、次の点を参考のうえ選ぶようにしてください。

- ・ 学年や年齢に応じた作品であること
- ・ 児童生徒自身の声の質や魅力を表現できる作品や場面であること
- ・ 原作を削除や変更などはせずに、原文のままであること

VI 事務局・お問合せ

高知県立文学館（主担当：道脇夕加 副担当：檜垣佳甫、津田加須子）

T E L 088-822-0231、F A X 088-871-7857、E-mail : bungaku@kochi-bunkazaidan.or.jp

～ 第 1 類の主な作品（参考）～

小学校低学年向け

- 「お月さんもいろ」 松谷みよ子
- 「じごくのそうべえ」「そうべえ ごらくへいく」ほか 田島征彦
- 「しばてん」ほか 田島征三
- 「土佐の笑いばなし」「土佐の妖怪」「どろんのもへえ」ほか 市原麟一郎
- 「日曜市物語」「土佐の昔ばなし」ほか 窪田善太郎
- 「ちゃあちゃんの昔話」ほか 中脇初枝
- 県別ふるさと童話館(39)愛蔵版高知の童話 日本児童文学者協会
- 読みがたり高知のむかし話 土佐教育研究会国語部

小学校中～高学年向け

- 「少年たちの夏」「四万十川物語 光っちょるぜよ！ぼくら」ほか 横山充男
- 「ポコが危篤です」ほか 宮川静代
- 「絵の中のぼくの村」 田島征三
- 「とおい夏の日 四万十川ものがたり」ほか 笹山久三
- 「おこげさんのにゃんにゃん記」ほか 鍋島寿美枝

中学生向け

- 「水の精霊 Purify the Earth」ほか 横山充男
- 「四万十川」ほか 笹山久三
- 「海がきこえる」 氷室冴子
- 「魚のように」「きみはいい子」ほか 中脇初枝
- 「図書館戦争」「県庁おもてなし課」ほか 有川ひろ
- 「竜馬がゆく」 司馬遼太郎
- 「ジョン万次郎漂流記」 井伏鱒二
- 「婉という女」ほか 大原富枝
- 「一絃の琴」「天璋院篤姫」「權」ほか 宮尾登美子
- 「足摺岬」「絵本」ほか 田宮虎彦
- 「薔薇盗人」ほか 上林暁

※過去のコンクールで朗読された作品で、下線を付している方は高知県出身の作家です
※この他にも多くの作品がありますので、ぜひチャレンジしてください